

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 文化会館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 文化会館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)		①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:52.2%(平均値比 92.2%=52.2%÷56.6%) 小ホール:45.7%(平均値比 83.9%=45.7%÷54.5%) 展示室A:49.4%(平均値比 91.0%=49.4%÷54.3%) 展示室B:53.6%(平均値比 81.1%=53.6%÷66.1%) 大会議室:38.6%(平均値比 79.1%=38.6%÷48.8%) 練習室1:41.5%(平均値比 81.4%=41.5%÷51.0%) 練習室2:34.8%(平均値比 68.8%=34.8%÷50.6%) 練習室3:35.6%(平均値比 72.4%=35.6%÷49.2%) 練習室4:16.6%(平均値比 69%=16.6%÷24.2%) 和室:24.7%(平均値比 72%=24.7%÷34.1%)	4点
						平均値比(83%)=利用率(44.1%)÷53.0%(上記①適用)	85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:29,864人(平均値比 54%=29,864人÷54,922人) 小ホール:10,979人(平均値比 55%=10,979人÷20,131人) 展示室A:12,741人(平均値比 64%=12,741人÷20,058人) 展示室B:10,569人(平均値比 62%=10,569人÷17,117人) 大会議室:8,771人(平均値比 41%=8,771人÷21,359人) 練習室1:4,452人(平均値比 56%=4,452人÷7,898人) 練習室2:1,537人(平均値比 32%=1,537人÷4,872人) 練習室3:3,626人(平均値比 74%=3,626人÷4,903人) 練習室4:855人(平均値比 55%=855人÷1,550人) 和室:1,557人(平均値比 54%=1,557人÷2,892人)	4点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	①市民文化祭 (1)邦楽の部(3日間・14団体109人) ※無観客 (2)器楽・合唱の部(3日間・13団体80人) ※無観客 (3)ダンスの部(5日間・27団体723人、来場者1,575人) ②まるごと1日音楽の日inたじみ 開館40周年記念事業 (1)陶都楽友協会、多治見少年少女合唱団とシニアコア、多治見市交響楽団、ピアニスト古田友哉氏等のコンサートを市民参加で開催。 (2)小ホール/陶都楽友協会によるフレンドリーコンサート(来場者252人、出演者17人) (3)大ホール/TAJIMIアニバーサリーコンサート(ガラコンサート)(来場者563人、出演者122人)	仕様書以上 13点	①市民文化祭 近隣自治体では中止が相次いだ ^が 、出演者との意見交換を重ね、ケーブルテレビでの放送や感染が落ち着いた時期への延期等を提案。発表の場を確保することに努めた。 【出演者数の推移】 邦楽の部: H29/405人 H30/417人 R元/376人 R2/58人 R3/109人 器楽・合唱の部: H29/639人 H30/432人 R元/403人 R2/131人 R3/80人 ダンスの部: H29/1,011人→H30/865人→R元/863人→R2/558人→R3/723人 ②まるごと1日音楽の日inたじみ 開館40周年記念事業として、各種団体で構成する実行委員会を組織し、市民が主体となるコンサートの企画を円滑に運営したことは評価できる。コロナ禍のイベント実施が躊躇される中、来場者や出演者からは満足感、達成感が感じられた。リニューアルに向けたフィナーレを華やかに飾ることができた。	13点	
					(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	①子育て支援事業(3事業1,404人) ②若手アーティスト支援事業(3事業459人) ③市民活動支援事業(12事業1,345人) ④芸術普及活動事業(23事業1,429人) ⑤舞台鑑賞事業(13事業15回6,298人) ⑥にぎわい創出事業(8事業974人)	期待以上 13点	①コロナによるイベント制限・制約を遵守しながら、市民の鑑賞機会・活動機会を確保 (1)子育て支援事業は、事業の計画が難しいなかで、コンサートやワークショップ等の3つの親子対象事業を1日に集約させ効率的に実施。 (2)若手アーティスト支援事業は、地域の音楽団体と連携して多治見出身の演奏家によるコンサートを企画実施。 (3)市民活動支援事業は、新しい試みとして子どもが参加できる軽音楽器体験講座を企画。セッションイベントにもつながり、幅広い層と一緒に演奏を楽しむ機会を創出。 (4)芸術普及活動事業は、小学校へのアウトリーチ、中学・高校の部活動支援、乳幼児・障がい者・高齢者に向けた演奏会等、幅広い層に文化芸術の魅力を伝えた。 (5)舞台鑑賞事業は、入場者数の制限を行いながら市民の期待に応える事業が行われた。 (6)にぎわい創出事業は、幼児等が楽しめる事業が減少傾向にあるなか、密を避けるため大ホールを会場にすることで、子どもたちも参加できる機会がつけられた。
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	①定期清掃、日常清掃を実施。 ②館内清掃業務を外委託から清掃職員の直接雇用へ(業務内容、実施時間の変更はない)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
				②保守・点検			①建物維持管理業務は文化会館、学習館、笠原中央公民館を一括委託し業務効率化を図る。 ②午後5時以降の機械設備等の日常管理は、設備員を直接雇用(緊急時は専門員が駆けつける体制を整備)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
				③保安・警備			①適正に業務を実施し、保安上の目立った問題は発生なし。 ②コロナによる時短期間や休館期間は、人的警備と機械警備の切替時間を通常時より繰上げ柔軟に対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
				④小規模修繕			①有償修理 36件 総額3,116,485円 ②大規模改修工事に先んじて、老朽化した備品の更新を実施(全体費用の26%) ③照明のLED化に重点を置き、継続して改修を実施(全体費用の19%)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
				⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			①毎日、施設利用が始まる前に各部屋と屋外を巡回点検 ②市が作成した日常点検チェックシートに基づく点検を2週間に1回実施 ③過去の故障、トラブル等の発生箇所を示した「危険発生・要注意箇所マップ」「雨漏り・漏水マップ」等を作成し随時更新。危険箇所の「見える化」を図る。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	

2	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P30 ①市ファイリングシステムに準じて、適正文書管理に努めている。 ②施設内にある図面(工事図面・完成図書等)、過去の修繕資料、申請書類等の分類リストを作成。市関係部署(建築住宅課、公共施設管理課)と情報共有。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②環境への配慮			年次報告書P30 ①電力会社のホームページで電力の使用状況を監視。無駄な電気を使用せず、デマンドを抑制。 ②館内照明のLED化を積極的に推進。3年度は機械室等バックヤードをLED化(改修総数79本)。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			年次報告書P30 ①楽屋通路用の鉄製スロープ、舞台花道用とステージ階段用の手すりを製作。車椅子の方や高齢者が登壇の際に設置。 ②バリアフリー化に関する要望を大規模改修工事の設計に盛り込まれるよう提案。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			年次報告書P30 ①大規模改修工事に向けて、すべての備品の所在や保管場所を再チェック。品目別の備品リストを作成。 ②リストに基づき廃棄備品の選別、新規購入備品の計画等の作業を実施。 ③改修工事後を見据え、老朽化した備品(椅子、ロッカー、電話台、案内ボード等)の更新を先行的に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			年次報告書P30 ①個人情報を含む書類等は鍵のかかるキャビネットに保管。廃棄はシュレッダーで裁断か処分場へ持ち込み。 ②定期利用団体等への問い合わせは、代表者や本人に確認した上で対応。 ③チケット予約等で収集した個人情報は適切に管理。本人承諾の範囲内(イベント情報の送付等)に限る使用を徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点 事故等対応に不備あり:△1点	年次報告書P31 ①催事の来場者1名が突然意識を失う事例あり。即座に救急搬送を要請するなど適切に対処。 ②加入保険を適用したケガへの対応等、重大な事故は発生なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	傷病者発生に際し、適切に対処されている。	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入152,020,495円÷支出152,310,393円＝100%	105%未満～100% 4点	収入において、多治見市より「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として、別途5,711,575円を交付。 【参考】令和元年度98%、2年度99.5%	4点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P32 ①これまでの利用者からの要望を大規模改修工事の設計会議等で共有。改修に反映されるよう提案。 (主な事例)(1)大小ホールの座席幅を拡大 (2)座席を取り外して車椅子が設置できるブースを新設 (3)トイレのリニューアル ②コロナ禍でも施設利用を確保するため、状況の変化に応じた対策・対応を実施 (1)文化庁の補助事業を活用。換気用網戸の設置、飛沫防止パネルや非接触体温計、サーマルカメラを整備 (2)チケットの受取りや入金の期限を通常よりも延ばす等柔軟に対応	期待以上 9点	①文化会館だけでは手に負えなかったハード面の改修が、大規模改修工事に提案したことで目に見える形で利用者ニーズに応えることとなった。 ②コロナ禍でも利用者に安心して来館していただくため、積極的に補助金を活用し、環境整備に努めた。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点 適正(普通):4点 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	年次報告書P33 ①駐車場不足の対策として駅北立体駐車場の2時間無料サービスを継続実施。3年度は127件が利用。 ②大ホールの空調の効きが悪いことについて、換気装置を全開にしているため空調の効きが悪くなっていることを説明。ほかにも原因がないか調査を実施。 ③コロナ対策で実施しているチケット予約・販売時の住所の聞き取りについて、個人情報の収集が過剰であるとの声。目的を十分説明し、本人が承諾しない場合は必要最小限の情報収集に留めることを職員間で確認。	適正(普通) 4点	①慢性的な駐車場不足に対して、駅北立体駐車場の利用サービスが定着してきており、取組みについて評価する。 ②コロナ対策に伴う個人情報の取扱いについての受け止め方は人それぞれである。臨機応変な対応が求められる。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P33～34 ①改修工事の対象から外れた箇所の施設改善を先行して実施。 (1)バックヤードの蛍光灯(79本)をLEDに更新 (2)練習室4の床カーペットの張替え (3)更衣ロッカー、電話台、行事案内ボード、椅子、駐車場用立て看板などの備品の更新 ②市の各部署と連携し、ワクチン集団接種会場として協力。 ③消防用設備の改修を計画的に実施 (1)前回更新から10年が経過していた全62本の消火器を更新。 (2)全63か所の誘導灯を順次LEDに更新。更新率97%。残る箇所は大規模改修に引き継ぐ。 (3)点検時に不具合が指摘された感知器・非常用発電機・ハロン消火設備は、大規模改修までの間、機能を維持するための対応を実施。	期待以上 14点	①長年の利用者の声や施設の課題が、大規模改修工事を機に改善されるよう設計段階から参加。 ②リニューアル後の施設運営を見据えて、先行して備品の更新等に取り組んだ。 ③館内照明器具や非常誘導灯のLED化など、可能な限りの環境改善に努めた。 ④コロナ禍でも市民が安心して施設の利用が進められるよう、コロナ対策物品を充実し利用者への貸出しを行った。 ⑤主催者、来場者双方が安心して施設を利用できるよう様々な視点からサポートした。 ⑥コロナによってホール事業のリスクが高まるなか、視点を変え子どもたちの文化活動への支援を拡充させることで、子どもたちが活躍する機会を創出した。 ⑦令和2年度に続き臨時休館や時間短縮に翻弄されながら、安心安全な施設運営に努めた。	14点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計			85	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計85点
								全体的な評価 ①リニューアルの大規模改修工事を目前にして、会館として可能な限りのハード面の改善に積極的に取り組まれた。 ②館内での事業のみならず学校等各方面へ出向き、児童、生徒を中心に文化・芸術活動の拡大に努めた。 ③コロナ禍の自粛が求められる中、開館40周年記念事業を見事に完遂し、市民に対する会館の存在、リニューアル後の新たな会館への期待を広く知らしめることができた。	極めて良好